

日本農業の蘇生と肥料

チッソ旭肥料株式会社

取締役 友 田 修 治



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平成21年の年頭に当たり、「農業と科学」をご愛読いただいております皆様のご多幸とご繁栄をお祈り申し上げますとともに、一言ご挨拶を申し上げます。

日本経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱の影響が波及し、また原油・原材料の高騰による企業収益の悪化、海外経済の減速、円高の進行等により景気は後退局面に入った感が一層強まりました。

そうしたなか、日本の農業は構造的問題による耕作放棄地の増加、農産物市況の低迷、燃料・資材価格の高騰、環境問題に伴う減肥などにより、相変わらず厳しい状況は続いています。

一方で、BRICs（ブラジル、ロシア、インド、中国）の急速な経済成長や、「バイオエタノール」への用途拡大などにより、穀物価格が急速に値上がりしています。

日本ではこれまで、高品質な穀物を常に低価格で享受できることが当たり前の様に考えられてきましたが、世界的な穀物自給バランスの変化や国内経済の後退などと相俟って、食料の非常に大きな部分を海外からの供給に頼っている食（＝農業）のあり方は、今後大きな転換期に差し掛かると言わざるを得ません。

今後農業は、「食料自給率向上」・「効率的農業経営」などを目指す方向に転換していくものと考えられます。このような環境の下で、当社は、作物が肥料を必要とするとき必要な肥料量を、かつ追肥作業が省ける効率化を有した機能性肥料のコーティング肥料「LPコート®」、 「ロング®」を取り揃えております。さらにLPコート・ロングの技術を発展させ、育苗段階で作物の一生に必要な肥料量を施肥できる局所施肥肥料「苗箱まかせ®」・「育苗まかせ®」を上市し、ご愛顧頂いております。この商品の長が、日本農業蘇生のためにお役に立てば幸いです。

当社は、他にも肥効調節型緩効性窒素肥料「ハイパーCDU®」、緩効性窒素肥料「CDU®」、打ち込み型肥料「グリーンパイル®」、硝酸系高度化成肥料「磷硝安加里®」、高性能育苗培土「与作®」等々、収量、品質の安定・向上を目指した商品も取り揃え、皆様のご要望にお答えできるよう努力させて頂いております。今後とも一層のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

最後に、本年も「農業と科学」ますます内容の充実を図るよう編集部一同努力してまいりますので、さらなるご愛読を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。